

ティーエスワン配合カプセル T20
 ティーエスワン配合カプセル T25
 ティーエスワン配合顆粒 T20
 ティーエスワン配合顆粒 T25

【この薬は？】

販売名	ティーエスワン 配合カプセル T20 TS-1 Combination Capsule T20	ティーエスワン 配合カプセル T25 TS-1 Combination Capsule T25	ティーエスワン 配合顆粒 T20 TS-1 Combination Granule T20	ティーエスワン 配合顆粒 T25 TS-1 Combination Granule T25
一般名	テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム Tegafur・Gimeracil・Oteracil Potassium			
含有量	1カプセル中 テガフル 20mg ギメラシル 5.8mg オテラシルカリウ ム 19.6mg	1カプセル中 テガフル 25mg ギメラシル 7.25mg オテラシルカリウ ム 24.5mg	1包(0.2g)中 テガフル 20mg ギメラシル 5.8mg オテラシルカリウ ム 19.6mg	1包(0.25g)中 テガフル 25mg ギメラシル 7.25mg オテラシルカリウ ム 24.5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗がん剤のなかの代謝拮抗剤（フッ化ピリミジン系）と呼ばれるグループに属する薬です。

- ・3種類の成分を配合することにより効率的にがん細胞（腫瘍）の増殖を抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。
胃癌、結腸・直腸癌、頭頸部癌、非小細胞肺癌、手術不能又は再発乳癌、膵癌、胆道癌
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 患者や家族の方は、この治療の必要性や注意すべき点などについて十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意した場合に使用が開始されます。
- この薬は、骨髄抑制〔発熱、体がだるい、出血しやすい（鼻血、歯ぐきの出血、青あざができる）、出血が止まりにくい、息切れ、めまい〕がおおきくと使用できないので、頻回に血液検査が行われます。
- この薬は、劇症肝炎などの重篤な肝障害（体がだるい、食欲不振、発熱、皮膚や白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、意識の低下）がおこることがあるので、早期発見のため、定期的に肝機能検査が行われます。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にティーエスワンに含まれる成分で重篤な過敏な反応を経験したことがある人
 - ・重篤な骨髄抑制(貧血、白血球減少、血小板減少)がある人
 - ・腎臓に重い障害がある人
 - ・肝臓に重篤な障害がある人
 - ・他のフッ化ピリミジン系抗がん剤を使用している人
 - ・フッ化ピリミジン系抗真菌剤フルシトシンを使用している人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人（類薬のテガフル・ウラシル配合剤を使用した方のお子さんに奇形が認められたとの報告があります。）
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・骨髄抑制(貧血、白血球減少、血小板減少)がある人
 - ・腎臓に障害がある人
 - ・肝臓に障害がある人
 - ・感染症にかかっている人
 - ・耐糖能異常のある人
 - ・間質性肺炎にかかっている人、または過去に間質性肺炎にかかった人
 - ・心臓に障害がある人、または過去に心臓に障害があった人
 - ・消化管潰瘍（かいよう）または消化管出血のある人
 - ・高齢の人
- この薬には併用してはいけない薬[フッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤のフルオロウラシル（5-FU等）、テガフル・ウラシル配合剤（ユーエフティ等）、テガフル（フトラフル等）、ドキシフルリジン（フルツロン）、カペシタビン（ゼロード）、ホリナート・テガフル・ウラシル療法（ユーゼル・ユーエフティ等）、

レボホリナート・フルオロウラシル療法（アイソボリン・5-FU等）、フッ化ピリミジン系抗真菌剤のフルシトシン（アンコチル）]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○B型肝炎ウイルスに感染している人、または過去に感染したことがある人が、この薬を使用すると、B型肝炎ウイルスの再活性化が起こる可能性があるため、血液検査が行われます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの体表面積（身長と体重から計算）や、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は次のとおりです。

販売名	ティーエス ワン配合カ プセル T20	ティーエス ワン配合カ プセル T25	ティーエス ワン配合顆 粒 T20	ティーエス ワン配合顆 粒 T25
一回量	2～3 カプセル		2～3 包	
飲む回数	1日2回、朝・夕食後30分以内			

- ・この薬は、通常28日間（4週間）連続で飲み、その後14日間（2週間）休みます。これを1クールとして繰り返します。ただし、医師があなたの症状や副作用の様子をみながら、他の抗がん剤などを併用したり、カプセルおよび顆粒の種類や飲む量および飲む期間を変えたり（短くしたり）、休む期間を変えたり（長くしたり、短くしたり）することがありますので、医師の指示を守ってください。
- ・この薬は、骨髄抑制、劇症肝炎などの重篤な副作用を回避するために、使用開始前、使用中は2週間に1回以上、臨床検査が必要です。医師が指示した受診日を守ってください。
- ・この薬は、必ず食事の後に飲んでください。

●どのように飲むか？

コップ一杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れに気づいた場合には、その薬は飲まずにとぼして、次の決められた時間に次の薬を飲んでください。

●多く飲んだ時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用中止後に、他のフッ化ピリミジン系抗がん剤や抗真菌剤フルシトシンを使用する場合は、少なくとも7日以上の間隔をあけます。
- ・他のフッ化ピリミジン系抗がん剤や、抗真菌剤フルシトシンの使用中止後、この薬の使用を開始する場合も、適切な間隔をあけます。
- ・この薬により、体の抵抗力が弱まり、かぜなどの感染症にかかりやすくなる場合があります。人ごみを避けたり、外出後は手洗いやうがいなどをしたり、感

感染症にかからないように気をつけてください。

- ・出血しやすくなることがあります。鼻血、歯ぐきの出血、青あざなどの症状に気をつけてください。
- ・間質性肺炎（息苦しい、息切れ、から咳、発熱など）の症状があらわれた場合には、ただちに受診してください。この薬を使用することにより、間質性肺炎が発現または増悪し死亡に至ったとの報告があります。
- ・B型肝炎ウイルスに感染している人、または過去に感染したことがある人は、継続的に血液検査が行われます。体がだるい、食欲不振、発熱、皮膚や白目が黄色くなるなどの症状があらわれた場合には、速やかに医師に連絡してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。（類薬のテガフル・ウラシル配合剤を使用した方のお子さんに奇形が認められたとの報告があります。）妊娠の可能性があるときは、すぐに医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
骨髄抑制 こつずいよくせい	鼻血、息切れ、青あざができる、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、体がだるい、発熱、出血しやすい、のどの痛み、動悸（どうき）、めまい
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	ふらつき、立ちくらみ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、疲れやすい、褐色尿、頭が重い、めまい、体がだるい、動く時の動悸や息切れ
播種性血管内凝固症候群（DIC） はしゅせいけつかんないぎょうこしょうこうぐん（ディーアイシー）	尿が黄色い、白目が黄色くなる、めまい、鼻血、皮膚が黄色くなる、動悸、息切れ、耳鳴り、紫色のあざ、頭痛、青あざができる、歯ぐきの出血
重篤な肝障害 じゅうとくなかんしょうがい	発熱、判断力の低下、かゆみ、皮膚が黄色くなる、吐き気、発疹（ほっしん）、嘔吐（おうと）、意識の低下、羽ばたくような手のふるえ、体がだるい、白目が黄色くなる、食欲不振、考えがまとまらない
脱水症状 だっすいしょうじょう	体がだるい、尿量が減る、下痢、のどが渇く、意識がうすれる、深く大きい呼吸、手指のふるえ、考えがまとまらない、判断力の低下
重篤な腸炎（出血性腸炎、虚血性腸炎、	吐き気、嘔吐、下痢、激しい腹痛、急激な腹痛、発熱、血が混ざった便、むかむかする、腹がはる

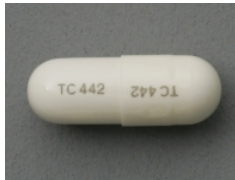


壊死性腸炎 じゅうとくなちょうえん (しゅっけつせいちょうえん、 きよけつせいちょうえん、え しせいちょうえん)	
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	息苦しい、息切れ、から咳、発熱
心筋梗塞 しんきんこうそく	息苦しい、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭 心痛、冷や汗
狭心症 きょうしんしょう	胸が押しつぶされるような感じ、冷や汗、胸の痛み、 胸がしめつけられる感じ、胸を強く押さえつけた感じ
不整脈(心室頻拍な どを含む) ふせいみやく(しんしつひん ぱくなどをふくむ)	脈がとぶ、脈が乱れる、脈が速くなる、息切れ、動悸、 気を失う、意識がなくなる、胸部異和感、胸の痛み
心不全 しんふぜん	体がだるい、全身のむくみ、横になるより座っている 時に呼吸が楽になる、息苦しい、息切れ、動く時の動 悸
重篤な口内炎 じゅうとくなこうないえん	口の中が荒れて痛い
消化管潰瘍 しょうかかんかいよう	吐き気、嘔吐、黒色便、血が混ざった便、胃の痛み
消化管出血 しょうかかんしゅっけつ	血が混ざった便、黒色便、吐き気、血を吐く、腹痛、 嘔吐
消化管穿孔 しょうかかんせんこう	吐き気、激しい腹痛、嘔吐
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	意識の低下、眼がはれぼったい、疲れやすい、尿量が 減る、尿がでない、頭痛、体がだるい、息苦しい、体 のむくみ
ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん	全身の著明なむくみ、尿量が減る、尿の泡立ちの増加
中毒性表皮壊死融 解症(TEN) ちゅうどくせいひょうひえし ゆうかいしょう(テン)	関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水 疱)、体がだるい、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこう ぐん(スティーブンスージョ ンソンしょうこうぐん)	高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、 発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、 まぶたや眼の充血、食欲不振、体がだるい、結膜のた だれ
白質脳症を含む精 神神経障害 はくしつのおうしょうをふくむ せいしんしんけいしょうがい	ぼんやりする、ふらつき、覚えられない、物忘れ、け いれん、しゃべりにくい、意識がなくなる
急性膀胱炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐、発熱、急に激しくおなかが痛む、急に 激しく腰や背中が痛む
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、足のしびれ、手のしびれ、脱力感、 筋肉の痛み、赤褐色尿

嗅覚脱失 きゅうかくだっしつ	臭いがわからない
涙道閉塞 るいどうへいそく	涙が一日中あふれて止まらなくなり、視界が不良になる、めやにが常にあふれる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がだるい、発熱、ふらつき、立ちくらみ、疲れやすい、体のむくみ、全身のむくみ、高熱、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、関節の痛み、脱力感、けいれん、冷や汗、全身の著明なむくみ
頭部	頭痛、頭が重い、めまい、意識の低下、考えがまとまらない、意識がうすれる、ぼんやりする、意識がなくなる
顔面	鼻血、臭いがわからない
眼	白目が黄色くなる、眼がはれぼったい、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、涙が一日中あふれて止まらなくなり、視界が不良になる、めやにが常にあふれる
耳	耳鳴り
口や喉	歯ぐきの出血、血を吐く、吐き気、嘔吐、のどが渇く、から咳、口の中が荒れて痛い、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、しゃべりにくい、のどの痛み
胸部	息切れ、動悸、動く時の動悸や息切れ、深く大きい呼吸、息苦しい、吐き気、横になるより座っている時に呼吸が楽になる、胸が押しつぶされるような感じ、胸の痛み、胸がしめつけられる感じ、胸を強く押さえた感じ、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、胸がドキドキする、狭心痛、胸部異和感
腹部	吐き気、食欲不振、腹痛、激しい腹痛、胃の痛み、急に激しくおなかが痛む、むかむかする、急激な腹痛、腹がはる
背中	急に激しく腰や背中が痛む
手・足	手指のふるえ、羽ばたくような手のふるえ、関節の痛み、手足のこわばり、足のしびれ、手のしびれ、脈が乱れる、脈が早くなる、脈がとぶ
皮膚	青あざができる、皮膚が黄色くなる、紫色のあざ、かゆみ、発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）
筋肉	筋肉の痛み
便	下痢、黒色便、血が混ざった便
尿	褐色尿、尿が黄色い、尿量が減る、尿がでない、赤褐色尿、尿の泡立ちの増加
その他	出血がとまりにくい、出血しやすい、陰部の痛み、判断力の低下、覚えられない、物忘れ、気を失う

【この薬の形は？】

販売名	ティーエスワン 配合カプセル T20	ティーエスワン 配合カプセル T25	ティーエスワン 配合顆粒 T20	ティーエスワン 配合顆粒 T25
形状	不透明硬カプセル剤	不透明硬カプセル剤	顆粒剤	顆粒剤
				
外形	全長：14.5mm 長径：5.2mm 短径：5.0mm	全長：14.5mm 長径：5.2mm 短径：5.0mm		
色	白色	キャップ：だい だい色、ボ ディ：白色	白色	
識別 コード	TC442	TC443	TC451	TC452

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ティーエスワン 配合カプセル T20	ティーエスワン 配合カプセル T25	ティーエスワン 配合顆粒 T20	ティーエスワン 配合顆粒 T25
有効成分	テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム			
添加物	乳糖水和物、ステアリン酸マグネシウム、ゼラチン、ラウリル硫酸ナトリウム、酸化チタン	乳糖水和物、ステアリン酸マグネシウム、ゼラチン、ラウリル硫酸ナトリウム、酸化チタン、黄色5号	乳糖水和物、D-マンニトール、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。余っ

た薬を自分の判断で使用してはいけません。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：大鵬薬品工業株式会社

(<https://www.taiho.co.jp/>)

医薬品情報課

電話番号：0120-20-4527

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)